

秋保大滝植物園だより No.23 夏号

園内に咲く四季折々の花や色とりどりの実、季節を告げる生きものなどの自然の情報を、季節をおってお届けします。今回は夏です。尚、バックナンバーは(公財)仙台市公園緑地協会ホームページ「杜のひろば」よりダウンロードできます。



ハナゾノツクバネウツギ[花園衝羽根空木] (アベリア) 花：6月～10月まで咲き続ける。よく分枝する。中国原産。



コマツナギ[駒繫]花：7月～8月 落葉小低木。名は馬を繋げるほど茎が丈夫ということから。葉の両面には柔らかい伏毛が多い。



オオバギボウシ[大葉擬宝珠] 花：7月～8月 山菜「ウルイ」として親しまれている。溪流沿いの湿りのある斜面を好む。



ゲンノショウコ[現の証拠] 花：8月 山野や道端に生えている多年草。葉草としても知られている。



クサギ[臭木] 花：7月 葉をもむと独特な臭いがあることから名づけられた。名前に反して繊細な花が咲く。



スミダノハナビ[墨田の花火] 花：6月～7月 額紫陽花の園芸品種。花火のように装飾花が飛び出すような形をしている。



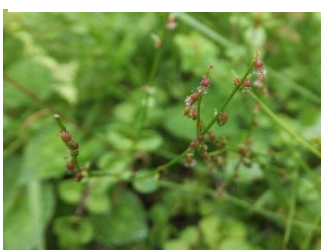
カエデドコロ[楓野老] 花：7～8月 つる性多年草。雌雄異株。根元に近い葉が楓の葉に似ている。根は山の芋のようにならない。



クロホオズキ [黒酸漿]花：7月～8月 園芸品。1年草。ホオズキとは属が違う。花は青紫色で、実は黒みを帯び形も面白い。



カルミア[花笠石楠花] 品種 花：5月下旬～6月。北米東部原産。散房花序に数十個の花を咲かせる。金平糖のような蕾も人気。



アリノトウグサ[蟻の塔草] 花：7月～9月 葉っぱも花も小さくて目立たないがグランドカバーにも向きそうに見える。赤い茎と黄緑の葉のコントラストも良い。



カリガネソウ[雁金草] 花：8月末～9月 別名「帆掛草」。花は清楚な青紫色。花全体が面白い形をしている。強い臭気がある。



マルスグリ [丸酸塊] (実) 実：7月 グーズベリーとも呼ばれ、果実は食用になる。



キバギ[木萩] 花：7月～9月。園内、西自然林縁に多く生えている。花は淡紫白色で、時に黄色みを帯びる。



ウツボグサ[靱草] 花：6月～8月 茎は四角。名前は花穂が弓矢を入れる鞆に似ているのでつけられた。花色には変化が多い。



クサネム[草合歓] 花：7月～10月 1年草。田んぼに蔓延る嫌われ者だが、花はマメ科特有の旗弁で、小さな淡黄色の花が可愛い。



インシカワ [石実皮] 花：8月 花は目立たないが、光沢のある実をつける。繁殖力が強く、逆さの生えたすどいトゲがある。



コアジサイ[小紫陽花] 花：5月下旬～6月中旬 自生は見られないが、実生の株が増えてきている。淡青紫の両性花が人気。



オクモミジハグマ[奥紅葉白熊] 花：8月～9月 ハグマの仲間が蕾が地味だが、開花すると白い花冠がクルンと巻いて愛らしい。



スズサイヨ[鈴柴胡] 花：7月～8月 花は早朝に開き日が当たると閉じる。曇りや雨の日は開いたまま。蕾は鈴形、開いた花は星形。



スイセンノウ[酔仙翁] 品種 花：6月～7月 葉も茎も柔らかい白毛で覆われるのでフランネルソウという別名あり。南ヨーロッパ原産。